

一緒に開けよう！まちの未来へつづく

鹿嶋市議会だより

とびら



No. 104

(令和3年3月議会を掲載)



Fighters

特集 軟式野球 × 市議会



— CONTENTS —

- 特集 軟式野球 × 市議会 2・3頁
- 3月議会の概要……………4～9
- 令和3年度の予算……………10・11
- 常任委員会の活動……………12・13
- ここが知りたい！一般質問……………14～24
- 全会一致で可決した決議……………25
- きかせて！あなたの夢……………26

次号の「とびら」は、令和3年8月1日発行 予定です



助け合いの精神を育む

軟式野球×市議会

様々な活動を通して、学校や家庭では経験できない多くのことを学ぶことができるスポーツ少年団。今回は、それぞれ切磋琢磨し、練習に励む大野ファイターズの土子団長と鹿島ベアーズの國井監督にお話を伺いました。

議 現在(3月27日)の団員数を教えてください。

土子 団長 大野ファイターズは平成2年9月に設立され、現在6年生が卒団した状態で、団員数は16名です。

國井 監督 鹿島ベアーズは平成11年4月設立で、現在12名で活動しています。

両監督 野球人口の減少が今後の課題だと思います。

議 軟式野球の魅力とは？

國井 監督 ボールが硬式と比べて柔らかいので、ぶつかってもケガをしにくい。また、投手の変化球が禁止なので、肩やひじなどの故障の不安も少ないと思います。そして、高校野球

とほぼ同じルールでプレーできるところが魅力だと思います。

土子 団長 軟式野球に限られたことではありませんが、団体競技の中で思いやりや、助け合いの精神を育めることも魅力の一つだと思います。

議 指導する上で大切にしていること、また苦勞しているところは？

土子 団長 野球はもちろんですが、人としての礼儀作法や自主性、自立心も指導している。例えば、自分の意見をはっきりと言えるような子になってほしい、そのためにはどう伝えるべきかなど考えながら指導をしています。小学生は年齢差が大きいです、それぞれの学年に分かりやすく、バランスを持った指

導をすることに苦勞しています。失敗よりも成功を数多く経験できるように指導を心がけています。ただ、今は団員数も少なく紅白戦などでもできない状態なので、どちらの経験も試合を通じてさせることが困難であることが残念です。そしてやはり、野球ができることに対する保護者や関係者への感謝の気持ちを忘れないことが大切ですので、常に意識させるよう指導しています。

議 当面の目標は？

國井 監督 5つある県大会のいずれかには出場したい。できれば、全国大会まで設定されている高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントの鹿行地区予選を勝ち抜き、県大会に出場したいです。

土子 団長 やはり、小学生たちの甲子園大会ともいわれているマクドナルド・トーナメントの県大会出場を、第一の目標としています！



感謝の気持ちを大切に、

議 指導をしていて嬉しく感じることは？

土子 団長 それぞれが成長して、徐々に勝てるチームになってくるとやはり嬉しいですが、キャプテンを中心に一丸となっているその瞬間ごとのチームの姿を見る時が一番嬉しいですね。

國井 監督 やはり、チームが勝つことももちろん嬉しいのですが、卒団していった先輩たちが練習に顔を出してくれることもとても嬉しいですね。今までの指導が間違いじゃなかったと思える瞬間です。

議 鹿嶋市に望むことは？

土子 団長 野球人口の減少に歯止めがかけられるような、例えば地域ごとの子どもたちのソフトボール大会を再開するなど、野球を身近に感じられる取り組みや、スポーツ少年団に対する補助金も増やしていただけたらありがたい。また、野球合宿ができるような宿泊施設がもつとあるとよいですね。

子どもたちは複数の小学校区から参加しているので、練習試合等の日程を組むときに、休日の学校行事の日時が各学校でバラバラだとスケジュールを立てるのが難しいと自に決めることもかもしれませんが、授業参観など休日学校行事の足並みを揃えていただけると、スケジュール調整がやりやすいのでとてもありがたいです。

國井 監督 子どもたちは複数の小学校区から参加しているので、練習試合等の日程を組むときに、休日の学校行事の日時が各学校でバラバラだとスケジュールを立てるのが難しいと自に決めることもかもしれませんが、授業参観など休日学校行事の足並みを揃えていただけると、スケジュール調整がやりやすいのでとてもありがたいです。

議 ありがとうございます



大野ファイターズ

活動日：土・日・祝日（8:30～16:30）
場 所：はまなす公園球場
対 象：小学生男女（1～6年生）

申し込み・問い合わせ

つちこ 土子さん ☎090-3094-1681

鹿島ベアーズ

活動日：土・日曜日（9:00～16:30）
場 所：北海浜多目的球技場
対 象：小学生男女（1～6年生）

申し込み・問い合わせ

ふくだ 福田さん ☎090-8592-2005

こんなことが決まりました！

2月26日～3月24日の27日間、令和3年第1回定例会が開催されました。市長から提出された34件の議案や、議会へ提出されている1件の陳情、委員会や議員から提出された3件の議案を審議しました。議決結果は次のとおりです。

議案番号	議案名	概要	結果
市長から提出された議案 34件			
議案第1号	令和3年度鹿嶋市一般会計予算	歳入歳出予算の総額を236億2,000万円とするもの。	原案可決
議案第2号	令和3年度鹿嶋市国民健康保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を69億9,291万7千円とするもの。歳入としては、国民健康保険税14億6,073万3千円、国庫支出金126万2千円、県支出金50億7,183万円、繰入金3億9,598万円、諸収入他6,311万2千円。歳出としては、総務費4,584万6千円、保険給付費50億7,449万1千円、国民健康保険事業費納付金17億8,435万4千円、保健事業費6,271万4千円などを計上。	原案可決
議案第3号	令和3年度鹿嶋市後期高齢者医療特別会計予算	歳入歳出予算の総額を8億1,732万5千円とするもの。歳入としては、後期高齢者医療保険料6億4,157万4千円、使用料及び手数料1万円、繰入金1億7,339万1千円、繰越金50万円、諸収入185万円。歳出としては、後期高齢者医療広域連合納付金8億1,576万5千円などを計上。	原案可決
議案第4号	令和3年度鹿嶋市介護保険特別会計予算	歳入歳出予算の総額を44億1,634万4千円とするもの。歳入の主なものとしては、介護保険料11億5,413万4千円、国庫支出金8億5,691万円、支払基金交付金11億2,710万8千円、県支出金6億2,753万1千円、繰入金6億5,028万8千円。歳出としては、総務費4,747万1千円、保険給付費40億2,594万円、地域支援事業費2億6,275万4千円、積立金7,596万7千円などを計上。	原案可決
議案第5号	令和3年度鹿島臨海都市計画事業鹿嶋市平井東部土地区画整理事業特別会計予算	歳入歳出予算の総額を1億2,300万円とするもの。歳入としては、分担金及び負担金7,643万9千円、使用料及び手数料2千円、財産収入25万8千円、繰入金4,530万円、前年度繰越金100万円など。歳出としては、都市計画費1億2,157万5千円などを計上。	原案可決
議案第6号	令和3年度鹿嶋市農業集落排水特別会計予算	歳入歳出予算の総額を7,304万4千円とするもの。歳入の主なものとしては、使用料及び手数料1,986万8千円、一般会計繰入金4,944万4千円、前年度繰越金300万円、県支出金70万円。歳出としては、農業集落排水費3,811万9千円、公債費3,392万5千円、予備費100万円を計上。	原案可決
議案第7号	令和3年度鹿嶋市墓地特別会計予算	歳入歳出予算の総額を1,115万4千円とするもの。歳入としては、使用料及び手数料645万4千円、繰越金470万円。歳出としては、墓地管理費536万7千円、基金積立金5,587千円、予備費20万円を計上。	原案可決
議案第8号	令和3年度鹿嶋市公共料金等集合支払特別会計予算	歳入歳出予算の総額を2億4,600万円とするもの。歳入としては、繰替金収入2億4,600万円。歳出としては、需用費（光熱水費）2億1,800万円、役務費（電話料）2,800万円を計上。	原案可決
議案第9号	令和3年度鹿嶋市下水道事業会計予算	収益的収入及び支出について、収入として総額14億7,173万6千円、支出として総額14億3,385万3千円を計上。資本的収入及び支出について、収入として総額5億5,296万円、支出として総額10億2,935万5千円を計上。	原案可決
議案第10号	令和3年度鹿嶋市水道事業会計予算	収益的収入及び支出について、収入として総額17億5,675万9千円、支出として総額17億2,593万1千円を計上。資本的収入及び支出について、収入として総額2億3,020万4千円、支出として総額9億818万5千円を計上。	原案可決
議案第11号	令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算（第14号）	歳入歳出それぞれ4,802万9千円を減額し、総額337億8,431万3千円とするもの。歳入の主なものとしては、法人市民税の減、市たばこ税の減、地方消費税交付金の減、国庫支出金の減、財政調整基金繰入金の減、東日本大震災復興基金繰入金の増、給食費の減などによる諸収入の減、減収補てん債の皆増などによる市債の増など。歳出の主なものとしては、財政事務経費の増、特別定額給付金給付事業の減、教育・保育施設入所支援事業の減、児童手当等経費の減、平井東部土地区画整理事業特別会計繰出金の増、鹿島地方事務組合消防事業経費の減、小学校大規模改造事業の増など。	原案可決
議案第12号	令和2年度鹿嶋市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ42万4千円を追加し、総額74億5,338万8千円とするもの。歳入としては、財産収入の増、繰越金の増。歳出としては、国民健康保険事業費納付金の増、積立金の増。	原案可決

討論は
7ページ

審査は
12ページ

議案番号	議案名	概要	結果
議案第13号	令和2年度鹿嶋市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ4,308万2千円を追加し、総額8億2,861万8千円とするもの。歳入としては、後期高齢者医療保険料の増。歳出としては、後期高齢者医療広域連合納付金の増。	原案可決
議案第14号	令和2年度鹿嶋市介護保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ4,624万5千円を追加し、総額45億9,723万4千円とするもの。歳入としては、国庫支出金の増、財産収入の増、繰入金の増、支払基金交付金の減、県支出金の減。歳出としては、積立金の増、総務費の減、保険給付費の減。	原案可決
議案第15号	令和2年度鹿島臨海都市計画事業鹿嶋市平井東部土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	既定の歳入歳出予算総額に増減はないが、歳入として、保留地処分金7,800万円を減額し、一般会計繰入金5,339万5千円、前年度繰越金2,460万5千円を見込むもの。歳出としては、負担金、補助及び交付金158万4千円を計上し、補償、補填及び賠償金158万4千円を減額。	原案可決
議案第16号	令和2年度鹿嶋市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	繰越明許費の補正について、繰越明許費に農業集落排水費を設定。	原案可決
議案第17号	令和2年度鹿嶋市下水道事業会計補正予算(第3号)	収益的収支について、収入予算総額に、営業外収益を追加し、総額14億9,510万9千円とするもの。支出としては、支出予算総額から、営業費用を減額し、総額14億3,573万4千円とするもの。資本的収支について、収入予算総額から、企業債を減額し、国庫補助金、負担金及び分担金を追加し、総額5億9,684万2千円とするもの。支出としては、支出総額から、建設改良費、固定資産購入費を減額し、総額10億8,163万4千円とするもの。	原案可決
議案第18号	鹿嶋市工場立地法地域準則条例	認定復興推進計画(茨城産業再生特区計画)が令和3年3月末日をもって終了することに伴い、当該計画の終了後においても緑地率については引き続き緩和措置を講ずるため、工場立地法の規定に基づき制定するもの。	原案可決
議案第19号	鹿嶋市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	押印を求める手続の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第20号	鹿嶋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び鹿嶋市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	職員が不妊治療と仕事を両立させながら働き続けることのできる環境を整備するため、関連する条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第21号	鹿嶋市土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例	許可の基準に適合しない事業に対し迅速な指導を行うことができるようにするとともに、事業者に係る欠格要件の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第22号	鹿嶋市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例	非常災害により生じた廃棄物を処理する施設を設置する際に実施する生活環境影響調査結果の縦覧に係る規定を整備するため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第23号	鹿嶋市土採取事業規制条例の一部を改正する条例	使用する用語の定義及び罰則に係る規定の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第24号	鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険法の規定に基づく第8期介護保険事業計画の策定に伴い第1号被保険者の介護保険料を設定するとともに、同法施行令の改正に伴い所得指標等の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第25号	鹿嶋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	国が定める指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本市における基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第26号	鹿嶋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	国が定める指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、本市における基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第27号	鹿嶋市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	国が定める指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の改正に伴い、本市における基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第28号	鹿嶋市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	国が定める指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準の改正に伴い、本市における基準を見直すため、条例の一部を改正するもの。	原案可決

審査は
12ページ

審査は
12ページ

審査は
13ページ

議案番号	議案名	概要	結果
議案第29号	鹿嶋市水道事業給水条例の一部を改正する条例	押印を求める手続の見直しを行うため、条例の一部を改正するもの。	原案可決
議案第30号	字の区域及び名称の変更について	平井東部土地区画整理事業の施行に伴い、字の区域及び名称を変更する必要が生じたため、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。	原案可決
議案第31号	市道路線の認定について	宮中一丁目地内における都市再生整備計画事業に基づく道路1路線及び鉢形地内の開発行為に伴い帰属された道路4路線を認定するもの。	原案可決
議案第32号	市道路線の変更について	路線の一部が一般交通の用に供されていない市道8013号線の終点を変更するもの。	原案可決
議案第33号	令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算(第15号)	歳入歳出それぞれ5億1,333万2千円を追加し、総額342億9,764万5千円とするもの。歳入としては、学校施設環境改善交付金の増、財政調整基金繰入金金の増、義務教育債の増。歳出としては、小学校大規模改造事業の増。	原案可決
報告第1号	専決処分について(令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算(第13号))	歳入歳出それぞれ8,491万7千円を追加し、総額338億3,234万2千円とする補正予算について、地方自治法の規定により専決処分を行ったため議会の承認を求めるもの。歳入としては、新型コロナウイルスワクチン接種対策費及び接種体制確保事業費、財政調整基金繰入金。歳出としては、新型コロナウイルスワクチン接種経費、新型コロナウイルス感染症対策協力金など。	原案承認
議会へ提出された陳情 1件			
令和3年陳情第1号	人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望	令和3年度のシルバー人材センター事業の推進のために必要なセンターに対する国の補助金と同額以上の補助金の確保、センターに対する公共からの事業発注の確保について、強く要望するもの。また、令和5年10月に導入予定の消費税における「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、センター事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的な事業運営が可能となる措置を要望するもの。	採 択
委員会から提出された議案 1件			
第1号議案	鹿嶋市議会会議規則の一部を改正する規則	本会議や委員会への欠席事由として、産前・産後の期間に配慮するとともに、育児や介護等についても明文化をするもの。また、請願者に対し提出時に求めている署名押印を署名又は記名押印に改め、併せて、請願者が法人の場合の条文について、規定の整備を行うもの。 提出：議会運営委員会	原案可決
議員から提出された議案 2件			
第2号議案	新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷をなくし、市民の笑顔あふれるまちを実現するための決議	感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷などを絶対に許さず、全ての市民が互いの人権を尊重し、安心して笑顔溢れる暮らしが送れるよう決議するもの。 提出者：内田政文議員	原案可決
第3号議案	議案第1号令和3年度鹿嶋市一般会計予算に対する附帯決議	令和3年度一般会計予算の執行にあたり、「政策的事業については、執行時期を遅らせ、鹿嶋市の財政状況を見極め、慎重に行うこと」、「子育て支援センターの整備計画をはじめ、将来負担が増える計画について、市民との合意形成を図り進めること」を強く求めるもの。 提出者：宇田一男議員	否 決

審査は13ページ

審査は13ページ

審査は13ページ

審査は12ページ

全文は25ページ

討論は8ページ

議員賛否一覧表

賛否が分かれた議案と議員(会派)の賛否結果	未来かしま								公明かしま		日本共産党		幹会		無会派の会		無所属		
	飯塚俊雄	内田政文	根崎彰	池田芳範	坂本仙一	小池みよ子	栗林京子	小松崎敏紀	笹沼康弘	山口哲秀	樋口富士男	立原弘一	川井宏子	宇田一男	菅谷毅	舛井明宏	河津亨	佐藤信成	田口茂
議案第1号 令和3年度鹿嶋市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
第3号議案 議案第1号令和3年度鹿嶋市一般会計予算に対する附帯決議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成=○、反対=×、棄権=△、欠席=- ※篠塚洋三議長は、採決に加わりません。



討論 新年度予算案や新年度予算に対する 附帯決議について審議

■議案第1号 令和3年度鹿嶋市一般会計予算

歳入の主なものとして、市税は前年度比5・7%減の107億8787万円、法人事業税交付金は前年度比皆増の5638万円、地方特例交付金は前年度比56・9%減の6106万9千円、地方交付税は前年度比90・4%増の18億1304万3千円、国庫支出金は前年度比5・6%増の40億7339万3千円、県支出金は前年度比7・9%減の18億6146万1千円、繰入金は前年度比5・1%増の5億3591万4千円、諸収入は前年度比2・8%減の6億1373万円、市債は前年度比3・9%増の11億8880万円。歳出の主なものとして、人件費、扶助費、公債費からなる義務的経費は前年度比0・8%減の124億2848万9千円、普通建設事業費、災害復旧費からなる投資的経費は前年度比8・0%減の14億5666万6千円、物件費や補助費等のその他の経費は前年度比5・5%増の97億8584万5千円を計上。

反対



川井宏子議員

総務生活委員会で、財政難の今着工すべきか指摘されているにもかかわらず、全体での議論がなされていない予算には賛成できない。凍結し、その分の予算をコロナ対策に回すべきである。市民生活の不安をよそに巨額の税金が使われ審議もされず強行。市民に説明がないまま進む重点プロジェクト推進室の計画が含まれる予算を認めるわけにはいかない。また、新ゴミ処理施設建設計画の撤回と再構築を強く求め、反対とする。

賛成



内田政文議員

これまで鉄鋼業にかなりのウエイトで頼り、新たな産業の確立が遅れてきたことは反省すべき点ではあるが、ここは守りに入るのではなく、次を見据えて攻めの施策展開を図るべきであるとも考える。国の補助金を最大限に活用するとしており、今後の設計や整備、運営面でも無駄を省くなど、極力注意してもらいながら観光地鹿嶋を確立するとともに、安心して子育てができる鹿嶋市を目指して事業展開を図ってほしいと考え、賛成とする。

賛成



笹沼康弘議員

今回の予算においては、新型コロナウイルス対策はもちろん、今後起こるであろう災害対策への準備、そして未来の鹿嶋や子どもたちへの投資とも言える、重点プロジェクトを中心とした地域活性化と郷土愛の醸成への予算が含まれている。中心市街地活性化計画については補助金等を活用し、最小の費用で最大の効果が図れる、これまでの鹿嶋市行政の中で最大のチャンスが今ここにあると考え、賛成とする。

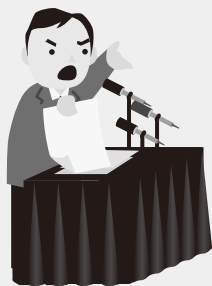
反対



舛井明宏議員

中心市街地活性化関連予算について市民の参画と理解を得るための議論が不十分である。特に子育て支援センターについて、建設の基本構想すらも作成せずに現状とは異なる場所に建設地のみ決定し、事業を進めようとしている。利用するのは市民であり、建設費も税金で賄う。国の補助期限の延長等を要望してでも市民との議論を深めるべき。まずは立ち止まって今までの総括と今後について市民とともに議論を行う必要があると考え、反対とする。

……………次のページへ……………



反対



宇田一男議員

当初予算編成方針の課題は未達成のまま、従来どおりの予算規模、事業内容、組織で仕事を進めたところで近い将来行政運営が行き詰まることは明白であり、当然ながら緊急性の低い事業や市長公約をはじめとした政策的経費は縮減しながら、この厳しい状況を乗り越えていかなければならない。財源なきところ政策なし。急激に地域経済環境も変わる中、身の丈に合った予算編成と財政運営に舵を切るべきと考え、反対とする。

賛成



小松崎敏紀議員

本予算案には、今後市民生活に関して大きなインパクトを与える事業が多くある。令和6年度に稼働予定の新可燃ごみ処理施設建設に関する事業や新型コロナウイルス感染症拡大防止にとって重要なワクチン接種に関する事業、これからの将来を担う子どもたちのICT教育環境の整備等に関する事業、本年度予定されている衆議院議員選挙や茨城県知事選挙に関する事業など、それぞれ必要な予算づけがされており、これか

らの鹿嶋市を考えた上で重要で速やかに推し進めなければならないため、賛成とする。

反対



佐藤信成議員

中心市街地活性化事業関連については、コロナの影響や日本製鉄における高炉の停止が発表されているが、見直す様子がない。歴史資料館を造るとお金を落とす人が増えると言いが、幾ら増えるのかについても明言はない。駐車場整備について、おもてなしが理由で億単位の事業を進めてよいのか。子育て支援センター利用者の方々は、買物や食事を目的に訪れているのではない。利用者の意見を十分に聞き、立地する場所を選定するところからやり直すべきだと考え、反対とする。

■第3号議案 議案第1号令和3年度鹿嶋市一般会計予算に対する附帯決議

市財政は、近年、財政調整基金が減少し、財政力を示す指標は、多くの項目で悪化の一途を辿っている。さらに市の基幹産業である鉄鋼産業は、高炉を含む製造ラインの停止が発表され、市民の間では、今後の雇用の不安、事業継続の不安の声が高

まっている。そのような中、今回新たに予算計上された子育て支援センター整備事業については、利用者である一般市民の意見が全く取り入れられていない。子育て世代の方々の意見が反映された施設になることを望むとともに、このような財政状況を鑑み、設置場所・施設規模・内容について様々な検討が必要である。その他、宮中地区賑わい創出事業においては、大規模な予算執行を伴う事業が、十分な説明もなく、唐突に事業化されるものが多くみられ、将来の財政負担が非常に不安である。よって、本予算の執行に当たり、「政策的事業については、執行時期を遅らせ、市財政状況を見極め、慎重に行うこと」、「子育て支援センター整備計画をはじめ、将来負担が増える計画について、市民との合意形成を図り進めること」を強く求めるもの。

反対



栗林京子議員

子育て支援センターの整備事業について、以前から複合施設には子育て支援施設は入るといって提案をいただいており、唐突に事業化されたものではない。中心市街地活性化事業は国から認定を受けた期限付の補助事業であり、遅らせるという

ことで約束時期に執行できなかった場合、市は国との約束を破ることになる。以上の理由から反対とする。

賛成



菅谷毅議員

ポストコロナ、新しい生活様式、脱炭素を目指す次世代産業への対応など、企業や行政の最優先課題が大きく変わってきている。中心市街地活性化というのは取り組むべき課題と認識はしているが、コロナ禍、日本製鉄の問題などもあるため、一旦立ち止まってしっかりと中身を点検して、執行に当たっては極めて慎重に進むべきと考え、賛成とする。

反対



内田政文議員

中心市街地活性化基本計画に位置つけた事業に対し、期限もあることから、このスケジュールを進めていくことが最善策と考える。これらの事業は、市の未来に貢献することが推測できるため、計画どおりに着実に進めることが必要。利用者の利便性向上につながるように最善の努力をしながら、国庫の補助金を最大限に利用して進めていくことが肝要と考え、反対とする。

賛成



河津 亨 議員

歴史資料館や子育て支援センターが必要なのかどうかということではない。現在の状況から場所が合っているのか、予算はそれでよいのか、内容はどうかというように議論がされるか否か。財政の負担を負うのは未来の子どもたち。市の将来に大きな不安が襲ってくるのが分かっていて、今の、目の前の無駄に目を瞑るのではなく、議会が率先して市民のために役割を果たさなければならぬと考え、賛成とする。

賛成



田口 茂 議員

まちづくりについて、コロナによって、さらには大きな財産の糧となる企業の変貌、混乱を受け止めて少し立ち止まるべきではないのかと考えている。今回の提案は、個々各論の問題ではなく、コロナ禍の中で激変する市を取り巻く環境について、議会もしっかりと市長と対峙し、切磋琢磨しながら市のためにどう活動するかということがこの提案の大きな課題だと思っている。以上の理由から、賛成とする。

反対



山口哲秀 議員

人口減少に対して交流人口をどうやって増やしていくか、また税収をどう増やしていくかが課題になってくる。そういう意味では、時を期せずして内閣府の認定を受けたこの中心市街地活性化計画に組まれている重点プロジェクト事業が、まさしく攻めの事業、また未来への投資で市のまちづくりがされていくと期待をしている。感染症対策、経済活性化、そして市民の生活を守り、市民福祉の向上のために適切な予算執行を求め、反対とする。

賛成



佐藤信成 議員

政策的な事業については、財政状況を見極めながら慎重な執行をするようにという内容。子育て支援センターについては、利用者があそここの場所が一番よいと言うのであれば、そこで建てればよいと私も発言をしている。何が何でもあの場所に反対しているわけではなく、足りないのは利用者の気持ちである。市民の意見を聞きながらまちづくりをするのか、行政や補助金の都合でまちづくりを進めていくのかを論点とした附

帯決議であると理解し、賛成とする。

反対



根崎 彰 議員

附帯決議を出すのであれば、予算決算常任委員会があるため、そこで提起をして諮っていた良かった。あくまでも、予算決算常任委員会を形骸化して、本会議に持ち込んでくるようなことはすべきではないと思っている。執行部においても予算化したからにはスピード感と責任感を持って事業の推進に当たっていただきたい。以上の理由から反対とする。

賛成



舛井明宏 議員

今回大きく2つ強く求めているいずれの項目についても、取り止めもしくは凍結、停止というものを求めているものではない。慎重に市民に寄り添って進めていただきたいというような趣旨であり、反対する理由がどこにあるのか。しっかりと市民に寄り添った計画を作り、補助金については国にお願いをして延期をしてでもよりよいものを造っていただきたいと考え、賛成とする。

反対



小松崎敏紀 議員

この附帯決議に関しては、議員各位それぞれ解釈の仕方、思いが全く異なっている。令和3年度予算に関するこのような附帯決議は、本来であれば予算決算常任委員会で行うべきであると考え。市の未来を本当に考えるのであれば、全員が賛成でできる内容で提出していただき、全員で議論をするべきだと考え、反対とする。

賛成



立原弘一 議員

市民が土壇場に追い詰められているため緊急避難的な救済策を予算に大きく盛り込んでいくことが本当は求められていた。附帯決議中の「立ち止まる」ということはそういうことも含まれているだろうと考え。今回の予算に対する主要な反対の理由は予算決算常任委員会での強行採決である。予算決算常任委員会に附帯決議をつけて、皆さんが賛成して予算を通すということが可能であったが、それができなかった。以上の理由から賛成とする。

令和3年度予算

総額 414 億円 **可決**

前年度比 + 0.4%

市の予算の総額

413億9,710万8千円

(前年度比1億7,659万5千円の増)

一般会計の予算額

236億2,000万円

(前年度比2億8,700万円の増)

予算決算常任委員会は3月10日及び3月22日に全体会で、3月15日及び3月16日には総務生活・文教厚生・都市経済の3つの分科会に分かれ、詳細な予算審査を行いました。

また、各分科会では令和3年度予算で実施する事業と、令和元年度に実施した事業から数種の事業を抽出し、予算調査を行いました。

議会は、令和3年度の一般会計を賛成多数で可決、特別会計及び企業会計予算を全員賛成で可決しました。

令和3年度会計別予算

一般会計	236億2,000万円
特別会計	126億7,978万4千円
国民健康保険	69億9,291万7千円
後期高齢者医療	8億1,732万5千円
介護保険	44億1,634万4千円
平井東部土地区画整理事業	1億2,300万円
農業集落排水	7,304万4千円
墓地	1,115万4千円
公共料金等集合支払	2億4,600万円
公営企業会計	50億9,732万4千円
下水道事業	24億6,320万8千円
水道事業	26億3,411万6千円

予算決算常任委員会

— 令和3年度予算への質疑 —

Q 予算編成方針において、すべての事業の徹底した見直し、ゼロベースでの見直しなど、かなり踏み込んだ方針としているが、具体的に見直した点は。

A 中心市街地活性化支援事業におけるまちづくり鹿嶋株式会社への補助金の廃止、公共下水道助成事業の補助金の縮小、若年世帯定住促進助成金を廃止し既存ストック利活用推進事業の補助金への切り替え、中学生国際交流事業海外派遣の見送り、各種指定管理料の見直し等を行いながら、ひとつひとつの事業を必要性や令和元年度決算額を加味しながら、過度な予算となっていないか各課ヒアリングを実施し編成した。

Q 総合計画の見直しが必要なのではないか。市を取りまく環境を見据えての市民に対するメッセージは。

A 日本製鉄の件については想定していなかった。市民の皆様にも大変な影響がある。総合計画を根本的に見直さなければならぬ。これからの市民の安心安全な暮らしのためには、市民・事業者の皆様の御協力をいただかなければ成り立たないと思う。

令和3年度に予算が増額となる事業など



新型コロナウイルスワクチン接種経費
2億3,543万2千円(皆増)
 ワクチン接種のための会場設営委託料や個別接種委託料など



地域子育て支援センター整備事業
1億8,337万3千円(皆増)
 子育て支援センター建設のための用地取得費や設計委託料など



歴史資料館整備事業
2,708万7千円(皆増)
 歴史資料館整備のための設計委託料



既存ストック活用事業
1,500万円(皆増)
 空き家などの取得や解体に対する補助金



一般廃棄物広域処理事業
8億9,926万4千円(3億4,960万円増)
 広域可燃ごみ処理費及び新可燃ごみ処理施設整備費や広域ごみ中継施設の計画策定など



中学校大規模改造事業
4,280万1千円(3,679万2千円増)
 高松中学校の大規模改造のための工事設計委託料など

令和3年度に予算が減額となる事業など



教育・保育施設入所支援事業
20億377万8千円(8,313万3千円減)
 保育所緊急整備事業費補助金の支出完了による減など



庁舎管理経費
7,818万円(6,899万5千円減)
 非常用自家発電設備設置工事の完了による減など



公民館施設管理費
4,452万9千円(4,367万3千円減)
 はまなす公民館の大規模改造事業の完了による減など



図書館管理経費
1,441万7千円(5,403万7千円減)
 中央図書館の大規模改造事業の完了による減など



観光施設管理費
1,147万2千円(1,892万6千円減)
 観光サインの作成完了による委託料の減など



公害対策経費
1,834万4千円(660万9千円減)
 環境基本計画の策定完了による委託料の減など

委員会 常任委員 決算 予算

令和2年度の 補正予算9件を審査

3月8日に開催した予算決算常任委員会では、令和2年度の各会計の補正予算9件について審査しました。

主な質疑

■議案第11号 令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算（第14号）

問 学生応援便事業について、執行率が低かったようだが、当初の予定の半分もいかなかった理由は。

答 申請率を60%で見込んでいたこと、学生数を正確に把握するべきがなかったことで、見込みが甘くなつた。SNSや親御さんから知らせていただき、464人の実績となった。

意見 次回以降、同じようなことをやるときは、どうしたら効果的に事業が市民の方に届くのか、検討してもらいたい。

■議案第33号 令和2年度鹿嶋市一般会計補正予算（第15号）

問 中野東小学校大規模改造工事の外壁アスベスト除去について、外壁の中にアスベストがあるので取り除くということか。

答 塗料材にアスベストが含まれていることが判明した。塗料材を剥離し、その上から塗装をする。

意見 中野東小の大規模改造工事は実施すべきと考えるが、高齢者がピークを迎える2040年問題を控える中、今後の学校施設の改修や統廃合について議論すべき。

採決の結果、全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

委員会 生活 総務

職員の不妊治療休暇制度の新設や 土採取条例の一部改正などについて審査

総務生活委員会では、7件の議案を審査しました

主な質疑と討論

■議案第20号 鹿嶋市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び鹿嶋市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
職員が不妊治療と仕事を両立させながら働き続けることのできる環境を整備するため、関連する条例の一部を改正するもの。

問 管理職員が大部分男性で申請者が女性となり申請がしにくいのでは。
答 申請が電子決裁のため配慮できている。

【賛成討論】
改正後も休暇取得状況を調査し、不十分な部分は改正するなどして休暇を取得しやすい環境づくりに努めるべき。

■議案第23号 鹿嶋市土採取事業規制条例の一部を改正する条例
今回の改正は、使用する用語の定義及び罰則に係る規定の見直し等を行うため、条例の一部を改正するもの。

問 改正によって、期間延長の場合、改めて申請しなくて済むなど甘くなったりしないのか。
答 むしろ変更許可のための申請を求めるもの。今までは「届出」でよかったものを許可制にし、規制を強化している。

採決の結果、議案第20号については賛成多数で、その他の議案については全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると決定しました。

介護保険条例の一部を改正する条例 ほか介護保険関連議案と陳情を審査

文教厚生委員会では、議案5件と陳情1件を審査しました。

主な質疑

■議案第24号 鹿嶋市介護保険条例の一部を改正する条例
第8期（令和3～5年度）介護保険事業計画の策定に伴い、第1号被保険者の介護保険料設定等の条例改正をするもの。

問 今回の介護保険料の改定は、低所得者に対しても影響が生じるのか。

答 （所得段階ごとに定める）負担割合を乗じる前の「基準額」が上がるので、低所得者の保険料にも影響は生じる。

問 鹿行管内での比較において、当市の介護保険料の水準は。

答 現在、各自治体で介護保険料の算定を行っている最中であり、改定後の金額の比較はできない。改定前の状況としては、県内でも当市の介護保険料は低い状況。

問 介護給付費準備基金の見直しについて。

答 引き続き高齢者の介護保険料負担の上昇を抑えるために活用をしていく。

意見 今後の医療費負担増も含め、低所得者に配慮した対策について考えるべき。

採決の結果、審査した全ての議案について全員賛成で、原案のとおり可決すべきであると、また陳情第1号は採択とすべきであると決定しました。

都 市 経 済 委 員 会

給水条例における押印手続きの廃止、 市道路線の認定・変更について審査

都市経済委員会では、給水条例改正案及び市道路線の認定と変更の3議案について審査しました。

主な質疑

■議案第29号 鹿嶋市水道事業給水条例の一部を改正する条例
市の行政手続きにおいて押印を原則廃止することとなったことから、押印に係る規定を削除するもの。

問 国の方針に合わせて、押印廃止を進めていくとのことだが、もし問題等が発生した場合はどうなるのか。

答 基本的に印鑑証明の手続きは残っており、財産関係等重要な内容については慎重に対応していく。トラブル等が予想されない極めて軽易なものに関して条例改正等をもって見直しを進めている。

■議案第31号 市道路線の認定について
宮中一丁目地内の都市再生整備計画に基づく道路1路線と鉢形地内の開発行為に伴う道路4路線を認定するもの。

■議案第32号 市道路線の変更について
路線の一部が一般交通の用に供されていない市道8013号線の終点を変更するもの。

議案第31号	番地先の表示
5695号線(認定)	宮中一丁目2257番1地先(起点)
8641号線(認定)	鉢形字籾不入1496番63地先(起点)
8642号線(認定)	鉢形字籾不入1496番44地先(起点)
8643号線(認定)	鉢形字籾不入1496番29地先(起点)
8644号線(認定)	鉢形字籾不入1496番77地先(起点)
議案第32号	番地先の表示
8013号線(変更)	宮中字萩原内224番地先(終点)

採決の結果、審査した議案はすべて全員賛成で可決すべきものと決定しました。

一般質問

一般質問は、私たちの生活にかかわりの深い事柄について質問するものです。

掲載した内容の詳細は、鹿嶋市議会のホームページにある「議会録画配信」をご利用ください。



このQRコードまたは各議員の顔写真下のQRコードから一般質問の映像がご覧いただけます。



栗林 京子 議員

(発言時間=40分)



Q 中心市街地活性化事業について

栗林

当初複合施設だったが見直しをするとのことだが、どのような見直しをしていく予定なのか、また、今この事業を推進するのは、どのような理由なのか伺う。

A 当初の計画より約10億円の削減

市長 検討を重ねた結果、新たな整備方針として歴史資料館と子育て支援施設の2つの施設に分けて整備することとした。歴史資料館については新仲家の新館の部分をリノベーションし、増築することで費用削減を図る内

容。市民交流館部分については、現在の子育て支援センターの機能はもちろんのこと、子育て支援機能を併せ持った子育て支援施設として整備をしていく。関鉄跡地の駐車場整備事業や市道改良事業は、当初の計画どおり実施する。今回の見直しを行った結果、概算で当初の計画より約10億円の削減を見込んでいる。

政策企画部長

鹿嶋を訪れた観光客が求められる環境を整備する必要がある。アフターコロナを見据えた観光対策として、中心市街地活性化基本計画の各事業を現段階から進める必要がある。財政面を考慮しても、中心市街地活性化基本計画の認定区域では国の補助金が活用でき、都市再生整備事業は令和4年度まで、暮らし・にぎわい創出事業は令和6年度までと終期が迫っている中で、一般財源の負担を平準化させて事業を進めていく必要がある。

Q 市内の経済対策は

栗林

プレミアム商品券の経済効果は。また、感染収束後、お徳感のあるお食事券など、飲食店への支援は考えていただけないか、市の見解を伺う。

A 新しい生活様式に対応する事業者への支援を検討

緊急経済対策担当参事

現在の換金状況においては、大型店などが1億4900万円、市内に根差す店舗については9100万円であり、専用券を設けた目的は一定程度効果があったものと考えている。今後の支援策としては、議員提案の食事券を有効な施策の一つと考え、事業者からの声を伺いながら、新しい生活様式に対応していく事業者への支援を検討していく。

【こんな質問もありました】

- ① 公共交通機能利便性について
- ② 公共料金のキャッシュレス化について
- ③ 高齢者への市民サービスについて

ここが知りたい！ 一般質問

Q 小中学校の統廃合について

小池

全校生徒46人、別の小学校がある。隣の潮来市では、徳島小学校が廃校となっており、行方市では、4つの小学校が統廃合となり1つになった。このまま小規模校を放置しておくのは大人のエゴであると考えます。統廃合の必要性について市の見解を伺う。

A 様々な事情を総合的に考慮する必要がある

教育長

児童数100人以下の小学校は今後5年間、入学者の急激な減少は見られず、当面



こいけ 小池 みよ子 議員

(発言時間=40分)



Q デマンド型乗合タクシーの料金について

小池

鹿嶋のデマンドタクシーの料金は、全国的に最も高いと言われている。大野から鹿嶋へ来るとき、片道が1000円

は横ばいが続くと思込んでいる。学校の統廃合を検討する場合、多様な交通手段の導入に伴う課題、通学距離、通学路の安全確保の問題、地域活力創生、地域づくりの問題、公民館活動、地域活動の問題等、様々な事情を総合的に考慮しなければならぬ。学校統廃合の適否を検討する上では、直接の受益者である児童生徒の保護者の声、将来の受益者である入学予定の子ども達の保護者の声などの意見を重視しつつ、地域住民の方と教育上の課題やまちづくりを含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら、子どもたちにとって何が一番よい方策なのかの検討を進めていくことが大切であると考えている。

A 他の公共交通機関に与える影響が大きい

政策企画部長

市内にはデマンド型乗合タクシー以外にも公共交通機関があり、500円均一にする他の公共交通に与える影響が大きい。現時点では、市内タクシー事業者からも理解が得られておらず、運賃を500円均一にしたことで、万が一市内のタクシー事業者の経営が傾くことになってしまつては、そもそもデマンドタクシー自体の運行もできなくなつてしまう。そのため、まずは予約時間の締め切り時間を遅らせることなどについて、関係事業者と協議をしていきたい。



ひぐち 富士男 議員

(発言時間=40分)



Q SDGsを学ぶ機会に

樋口

環境フェアを通じて、市民にSDGsへの理解、周知をするためにイベント会場にSDGsのロゴなどを取り入れた掲示やSDGsゲーム、企業の取組や小中学校の発表、講師を招いての講演会やコーナー等を行ってみてはどうか。環境フェアを通じてSDGsを学ぶよい機会になると考えるが、市の見解を伺う。

A 広報プログラムの展開を充実

市民生活部長

現在市のホームページ上でWeb開催の形で環境団体の各種取り組みの紹介をしている。また「ガラスの地球を救

Q 地球温暖化への対策は

樋口

ゼロカーボンシティの脱炭素社会へのシフトは資源環境や都市交通網の整備など、都市全体の将来像に関わる課題。関東甲地域の73市町村と民間企業で2050年までに二酸化炭素排出量ゼロを宣言し、本市も主旨に賛同し宣言をした。市は温暖化にどう取り組んでいくのか。

A 鹿嶋市環境基本計画を策定中

市民生活部長

公共施設への太陽光発電設備設置や庁舎照明や防犯灯等のLED化を実施している。今後は職員のマイボトル運動や省エネ設備の導入、公用車のハイブリッド車の導入推進などを検討す

Q ESDの取組は

樋口

ESDの取組についてどのように捉え、どのように推進していくのか伺う。

さらに市民の皆様の意識向上や、様々な取組への強化を図るために、現在策定中である鹿嶋市環境基本計画を策定後ホームページ等に掲載し、併せて周知を図っていききたい。

A 担い手を育む教育を推進

教育長

来年度は市内の小中学校の全児童を対象に廃棄物を通じたSDGsの環境の学習を実施する。15分程度のショートセミナーを2か月に1回程度発信し、子どもたちの興味、関心を引き出す。また子どもたちに配布される端末を家庭でも活用し家庭教育の展開も図る。教育委員会と学校が同じ志を持ち、市内全校で持続可能な社会づくりの担い手を育む教育の推進に努めていく。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 病床数の削減計画について

川井

政府は424か所の公的病院の統廃合を強行しようとしている。その中で県は2025年度までに全体で5000床減らす計画をしている。市として病床数を減らさないよう強く要望する必要があると考えるが、いかがか。

A 解決策を協議

**健康福祉
社部長**

第7次保健医療計画中の地域医療構想において、団塊の世代が2025年に後期高齢者に達することにより医療介護需要が増大することが見込まれていることから、住み慣れた地域で安心して自分らしい暮らしを

継続できるよう、住民ニーズに対応した医療介護提供体制の構築をするものとしている。鹿行保健医療圏における地域医療構想では、今後大幅に需要が増大する在宅医療や介護も視野に入れ、医療機能の分化、連携の促進や在宅医療の充実を目指しており、現状の改善に向けて地域医療構想会議等で決策を協議していく必要があると考えている。

Q 命まで自助でよいのか

川井

「在宅も強化する」との答弁で、県や国が進める5000床も減らす計画に対してしっかり物を言っていけるのか。「命まで自助」について本当にこれでよいのか。

A 県の医療体制は非常に脆弱

市長

県の医療体制が非常に脆弱であることはわかっている。県に対し、この地域全体としてはベッド数を減らさないよう

にと一生懸命努力していきたい。

Q 放射能汚染水の海洋放出について

川井

東日本大震災から10年、福島第一原発の放射能汚染水を海へ放出するということが、農業、漁業、釣り船など市民への影響もあると考える。各地で原発の再稼働が続く今だからこそ、市として毅然とした立場を表明する必要があると考えるが、市長の見解を伺う。

A 十分な協議と理解が大前提

市長

鹿島灘漁業協同組合から海洋放出を行わないよう国へ働きかけを求める要請書が市に提出され、市では直接東京電力、また市長会を通じて、海洋放出の実施には地域住民や漁業関係者との十分な協議と理解が大前提になると国に要請をしている。今後においても漁業関係者等の意向を酌んで、対応していきたい。



かわい ひろこ
川井 宏子 議員

(発言時間=60分)



一般質問



あきひろ 明宏 議員
ますい 舛井

(発言時間=45分)



Q 公共施設マネジメント制度の活用は

舛井 単に、はまなす公園とト緑地公園を一体管理運営（バンドリング）するだけでなく、行政運営から自治体経営に目を向けて、民間のビジネスチャンスの拡大と公園の魅力向上を両立させる施策を推進し、結果、市の魅力や市民サービスの向上、賑わいづくり、そして市の収入増加につなげていくべき。他自治体でも、都市公園に民間企業等のノウハウを活用し、カフェやショップなどの集客施設や保育所、デイサービスセンターなど、人々が集まる施設が徐々に作られ、最近では公有地を試験的に一定期間無料で民間の方に貸し

出すことで進出実現に向けた見通しを図る制度を活用しながら、市の新たな財政負担がないことを原則とした公共施設マネジメント制度を採用する自治体もある。今回市が予定しているバンドリング事業に併せ、このような事業も検討しているものがあるのか、市の見解を伺う。

A 今後調査研究を進めたい

政策企画部長 まずは、この3つの公園について、バンドリングによる都市公園の一体管理について検討してきているところであるが、今回の結果等を考慮し、残りの都市公園等について検討を進めるとともに、他自治体の先進的な取組を参考に、今後調査研究を進めたい。

Q 都市公園だけでなく公共施設全体では

舛井 都市公園だけでなく、公共施設全体のマネジメント

トにおける民間提案制度も採用し、民間活力の利用を含めた自治体経営についての検討はいかがか。

A 可能性が期待できる

市長

民間提案制度などにより民間事業者のアイデアや資金力を活用することができれば、新たな集客の掘り起こしや賑わいづくりにもつながる可能性が期待できるものと考えている。今後調査検討を行いたい。

舛井

鹿嶋市は新たな雇用創出企業誘致等に力を入れるべきであり、今回のような官民連携事業は、その一助になるもの。民間活力を存分に活用して、魅力ある施策となり、市民ファーストでサービスの向上につながり、かつ雇用の増加等、市の財政面に優位に働く綿密なプランを練っていただくことを願います。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 広域連携の取組は

宇田 現状での広域連携として
の取組み状況と今後取り
組むべき行政事業について、市の
考えを伺う。

A 順次拡大していきたい

政策企画部長 一部事務組合のほか、鹿
島アントラーズに係る

ホームタウン協議会などの各種協
議会、鹿島臨海鉄道や広域連携バ
スなどの公共交通分野、アント
ラーズホームタウンDMOや水郷
三都の取組などの観光分野、夜間
小児救急診療所、あるいは鹿行南
部地区地域病院群輪番制などの
医療分野において、近隣市や県内
自治体と連携して事業を実施し



うだ かずお
宇田 一男 議員

(発言時間=60分)



ているところである。将来の取組
については、市民に求められる行
政サービスと広域化で取り組むこ
との必要性等を考慮し、順次拡大
していきたいと考えている。

Q 神栖市との合併は

宇田

市長は、鹿島地域が一体
となるため、地域をリー

ドする鹿嶋市と神栖市が鹿島開
発の理念に立ち返って合併すべき
であると5年前の一般質問におい
て答弁している。鹿嶋市長として
合併に対する現在の思いを伺う。

A 次の時代を見据え進めるべ き

市長

鹿嶋市も神栖市も次の時
代を見据えて、自治体合

併を進めるべきと考える。合併は
相手側の自治体の事情もあるが、
神栖市長には打診済みであり、一
定の理解はいただいている。市民
議員、様々な階層で鹿嶋の思いを
伝えてもらいながら、自治体合併

の機運醸成がつけられるよう努力し
ていく。

Q 産業支援政策について

宇田

今後の自治体における鹿
島臨海工業地帯を含めた
産業支援政策について、市の考え
を伺う。

A 強化プランを着実に実施

政策企画部長

立地企業をはじめ、茨城
県、鹿嶋・神栖市にて、
企業と行政が連携して取り組むべ
き指針として策定された鹿島臨海
工業地帯競争力強化プランに沿っ
た施策を展開している。ドローン、
携帯型電子機器等をはじめとした
新たなテクノロジーを導入するス
マート化推進部会が設置され、先
進事例を研究し、ガイドラインの
検討等を行っている。引き続き、
本市経済を支えていく、この鹿島
臨海工業地帯競争力強化プランの
着実な実施を図っていく。



菅谷 つかし 議員
（発言時間＝45分）



Q 地方創生事業に関する包括連携協定とは

菅谷

地方創生事業に係る包括連携協定の内容は。また、市が描くスマートシティのイメージと、既に取り組んでいる事例があれば紹介願う。

A ICTなど新技術の活用

政策企画部長

協定の内容としては、新しい技術や民間データを活用し、本市及び周辺地域の課題解決を図るといふもの。スマートシティについては、都市の抱える諸課題に対し、ICT等の新技術を活用しつつ、計画、整備、管理運営等のマネジメントを行い、全体最適化を図る持続可能な都市

Q 市民との合意形成を丁寧

菅谷

デジタル化が進む中で、個人情報漏洩や人権侵害などの不安が広がっている。不安を丁寧に解消しながら進める必要があるが、いかがか。

A 透明性の担保が必要

政策企画部長

実施目的や内容について透明性が担保されなければ

をイメージしている。行政のデジタル化を進めることもスマート事業の一つであり、既存システム等の再整理や新たな研修カリキュラム、※RPA導入事業を実施している。市民向けの事業では、避難所の開設状況や混雑状況をリアルタイムに確認できるシステムの運用を開始。また、デジタル人材の育成として市独自に小学校でのプログラミング教育を実施している。

※RPA：ロボティック・プロセス・オートメーションの略。反復する事務作業や定型業務などの効率化を図るソフトウェアロボット。

Q コロナ禍後の人員配置計画

菅谷

台風や震災などにも対応できる必要な人員を維持していくのか。また、任期付職員と会計年度任用職員の正職員化を図るべきだと考えるがいかがか。

A 適正な職員数の確保を図っていく

総務部長

災害発生時の対応も念頭に置き、その時々々の行政需要に応じた組織体制の確立に努めていく。任期付職員については、定員管理計画策定の中で採用方針について整理し、職員の適正な配置に加え、高まる保育ニーズに対応できる体制を整備していく。会計年度任用職員については、総人件費への影響も考慮しながら、適正な職員数の確保を図っていきたい。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 市の借地について

河津

現在市が支払っている借地料について、今までの支払い総額は。また今後借地を減らしていく予定について伺う。

A 買収確保が望ましい

政策企画部長

現在借地しているもので昭和42年度以降の支払い総額としては33億4558万3000円。金額が大きい施設として、市役所が53年間で総額約3億8000万円、ト伝の郷運動公園が34年間で総額約6億7350万円、鹿島中学校が53年間で総額約6億6300万円、鹿嶋勤労文化会館が35年間で総額6億8500万円の支出となっている。今後



かわつ とおる
河津 亨 議員

(発言時間=60分)



については、用地確保について、国、県の補助金などを活用して買収により確保することが望ましいと考えている。

Q オリンピック開催の財政支援を要望しては

河津

オリンピックが中止また大きな変更があった場合の市の影響について、国や東京都、オリンピック委員会などにさらなる助成や補助を求めるなど、予算の少ない一地方自治体がオリンピックに協力しようとしたことが無駄にならないような支援策を求めているか、市の考えを伺う

A 引き続き要望していく

政策企画部長

金銭的な支援については、これまで機会があるたびに組織委員会、茨城県に対して特例的な支援を要望してきたが、残念ながら実現には至っていない。今後も継続して茨城県、組織委員

会に対し、経費支援あるいは補助金等の要望を行っていききたい。

Q コロナ禍に苦しむ高校生・大学生への支援は

河津

市において将来を担う高校生、大学生に、今どういった状況なのかというのをさらに調査して、手助けとなる支援策を検討できないものか伺う。

A 市内の生活環境の維持を優先

政策企画部長

コロナ禍に苦しむ大学生等に対し、市内に住む親御さんなどから生活状況を把握するとともに、学費負担を軽減する臨時の奨学金の募集や生活安定のため学生応援便を実施してきた。市としては、まずは大学生の親御さんなどが市内で安心して生活できる環境を維持していくということを優先していき、そのことが間接的に大学生の救済につながるものと考えている。



こまつぎさとしのり
小松崎 敏紀 議員

(発言時間=60分)



Q 生活インフラの維持管理について

小松崎 市民の生活インフラとして、上下水道、道路がある。今後の維持管理のあり方について伺う。

A 技術職員が不足

都市整備部長 課題として、安全安心な上下水道事業、道路環境を維持するための財源確保はもとより、既存施設の維持管理や災害時の応急対応等に携わる技術職員の不足が深刻化している。この状況が継続することで行政運営の支障になることも懸念されることから、人事担当とともに対策を調査研究していきたいと考えている。

Q 学校施設の維持管理について

小松崎 学校・教育施設について、市立幼稚園、保育園の維持管理についての方向性、小中学校の維持管理について問う。

A よりよい教育環境の整備に努める

教育部長 老朽化した公立の保育施設、幼稚園施設については、方針のとおり統合を含めた各施設の再配置を行い、施設の更新を図りながら施設数の調整を行っていききたいと考えている。学校施設については、策定を予定している学校施設長寿命化計画を基に、大規模改造工事と併せて適切な維持管理や改修により施設設備の長寿命化を進め、よりよい教育環境の整備に努めていく。

Q 子育て支援について

小松崎 『子育てするなら鹿嶋市で』と標榜している鹿嶋市として、子育て支援についてどのように考えているのか。

A さらに充実につなげる

市長 子どもは地域の宝であることを踏まえ、地域や社会全体で子育て支援する意味でも、子育て中の親子が気軽に立ち寄ることができる地域子育て支援拠点の充実が大きな役割を果たすものと考えている。現在、民間の保育園等を含めて、市内各所で子育て支援拠点を開設しているが、豊郷地区にある市営の地域子育て支援センターは、築約50年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、国の補助制度を有効活用し、にぎわいの創出を図る上でも、市の中心地に新たに建て替える方針とした。今後は、施設の機能面や利便性の向上などを含め、さらなる子育て支援の充実につなげていきたい。

ここが知りたい！ 一般質問

Q 中心市街地活性化事業について

佐藤 歴史資料館や子育て支援センターを中心市街地に作ると街が活性化すると言うが、そうは思わない。まちづくり市民センターは利用者が多いが、にぎわっていないではないか。

A 時間を費やしてお金を落とす

副市長 これまでと違った環境を整えることよって時間を費やして何らかのお金を落とすていくという考え方をしている。

佐藤 駐車場を整備しない場合と整備した場合とではどれほど経済効果が見込めると考えているのか。



のぶなり
さとう 佐藤 信成 議員

[発言時間=60分]



政策企画部長 市としては、あくまでもおもてなしの一環として整備するもので、駐車場整備単体での経済効果を求めている。

佐藤 市営駐車場を平日無料にするということは、既存の民間駐車場の経営には影響するのではないか。

政策企画部長 駐車場は目的地に近い箇所から埋まっていく傾向にあるので、既存の民間駐車場の利用者を減少させる施策とは考えていない。

佐藤 減少させないとの答弁は後を引くと思う。

Q 駐車場の利用負担は

佐藤 商店街の駐車場の利用料の負担。市内の他の地区で商売をしている方々や実際に駐車場を自前で用意している商店の方々の公平性が保てないのではないか。利用に応じて対象の商店に負担を求めるべきでは。

A 想定していない

政策企画部長 商店からの負担というものは想定していない。

佐藤 不公平だ。全く負担をしなくて恩恵だけ受けるとするのは、市民の税金で運営しているのだから。どうしてあの地区だけという声が非常に根強い。

Q 子育て支援施設について

佐藤 子育て支援施設の建設予定地について、どれだけ市民、利用者の思いが反映されたものなのか。

A 附帯的なメリットや効果を享受

政策企画部長 都市機能の集約、中心市街地の賑わい創出という附帯的なメリットや効果も享受できるといことから、市が建設予定地を選定した。

佐藤 市の合併についての話も出たが、合併で不要になる公共施設の利用も検討していくべきだ。



たちばら ひろいち
立原 弘一 議員

(発言時間=60分)



Q PCR検査の拡大を

立原

検査の大幅な拡大こそが鹿嶋における感染拡大を阻止するという意味で決定的だと思っている。ぜひともPCR検査の拡大を強く求めたい。鹿嶋の介護施設、障がい者施設、大事なところの定期検査を市長から県に対し強く要望していただきたいが、いかがか。

A 今の体制を充実させたい

市長

市は今までもドライブスルーによるPCR検査など医師会の協力をいただいております。鹿嶋では症状がある等必要に応じてすぐ検査する体制を取っている。検査の拡大ができれば一番良

Q 鹿島港整備費用の負担は

立原

鹿島港の整備費用の負担についてこれまで1度も負担したことはない。現状、鹿島港の維持管理費が大きいかかっている。この負担というのが今どのような話になっているのか伺う。

A すでに負担はしている

経済振興部長

平成18年度から港湾整備費用の一部について県から負担を求められているが応じていない。鹿島港を中心とした鹿島開発について、地元は土地を提供しており、この土地を造成し、進出企業への売却益で創設された鹿島特別会計などにより港湾整備などが行われた経過がある。市としては整備費の一部を既に負担していると認識しており、今後も鹿

Q 平井東部土地区画整理事業について

立原

平井東部土地区画整理事業の事業変更の内容は。市の財政負担はどのようになるのか伺う。

A 事業費が増加

都市整備部長

未施工箇所の詳細な調査設計による宅地造成費の増加に加え、宅地や境界等の震災復旧費、資材費や人件費の高騰、その他消費税増税に伴う経費の増加等に起因する工事費の増加など、事業費が3億1300万円増加するもの。このことに伴い、収入財源を精査した結果、3億2500万円を一般会計に繰り戻す予定であった保留地処分金から事業費に充当する必要が生じ、16億3960万円全額を一般会計に戻すことが困難な計画となった。

島開発時の土地提供の経過などを踏まえ対応していく。

全員賛成で決議しました！

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷をなくし、市民の笑顔あふれるまちを実現するための決議

首都圏の1都3県にだされていた緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの変異株による感染が拡大している。一方で、ワクチン接種が順次行われる予定だが、16歳以下は接種しない方向性が出されている。新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の兆しが見えず、本市においても、新しい生活様式を踏まえ、三密の回避や手洗いの励行など、各種の感染予防策を講じているものの、市民は日々不安を抱えながら日常生活を送っている。

そのような中、新型コロナウイルス感染症に関連する不安から生ずる差別や誹謗中傷が問題になっている。感染症患者や感染経路を特定しようとする動き、憶測による誤った情報の拡散、職業差別や偏見、誹謗中傷、いじめ等が全国的にも伝えられているが、こうした人権侵害は決してあってはならないものである。

また、新型コロナウイルス感染症は、いくら感染予防に努めても完全に回避することは難しく、誰もが感染者や濃厚接触者となる可能性がある。だからこそ、市民一人一人の思いやりと冷静な行動が、市民生活を守ることにつながる。感染症患者やクラスター発生源、それらにかかわる医療従事者や職員及びその家族等を責めることなく、社会全体として感染拡大防止に取り組まなければならない。

よって本市議会は、鹿嶋市民憲章にも「お互いの立場を尊重し 思いやりの心で住みよいまちにしよう」とあるように、感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷などを絶対に許さず、すべての市民が互いの人権を尊重し、安心して笑顔溢れる暮らしが送れるよう、下記のとおり決議する。

記

1. 新型コロナウイルス感染症をはじめとする、ウイルス等感染者とその家族及び接触者に対して、いわれなき偏見や差別、誹謗中傷により、それらの方が住みづらくなるような言動を絶対に許さない。
2. 医療関係者をはじめとするエッセンシャルワーカー、同感染者と関係する仕事に従事される方々に敬意を払い、感染拡大防止に奮闘するすべての事業者の皆さんに感謝するとともに、これらの方々の支援に協力する。
3. 根拠のない噂話に惑わされたり、差別や偏見につながるような情報の拡散は行わないとともに、差別や偏見を助長するような言動には異を唱える。

令和3年3月24日

鹿嶋市議会

—鹿嶋っ子の夢、
応援しています—

きかせて！
あなたの夢



平井中学校3年生
寺本 有紗さん
Teraoka Arisa

高齢者と関わりたい

私の夢は看護師の資格を取って老人ホームで働くことです。今は亡き祖母が病気で入院したときに看護師さんと接したことがきっかけです。そこで私は、老人ホームなら高齢者と関わりお手伝いできると思いましたが、新型コロナウイルス感染症で困難が多い中、看護師さんたちが素早く対応するところを見て、さらに強この職業に就きたいと思いました。

に動画作りに取り組んでいます。これからはみんなが過ごしやすいように、校則の見直しに取り組んでいきたいです。

鹿嶋市の魅力のひとつは住みやすい気候です。ほしい施設は、古き良き時代の落ち着いた純喫茶のようなものがあつたらいいなと思います。

夢を持つことはすばらしいことです。さらに深く「なぜそれが夢なのか」「その先に何をしたいのか」について自分の言葉で話す寺本さんは本当に素敵なお方でした。たくさん経験を重ねて、夢の実現のため幅広い分野で活躍していただきたいと思います。(菅谷・川井)

議 会 T O P I C S

シトラスリボンプロジェクトに賛同しています

新型コロナウイルス感染者への差別や偏見のない優しい地域にしていきたいという思いでスタートした、愛媛県発のシトラスリボンプロジェクトに賛同し、3月定例会から各議員がそれぞれシトラス色のリボンを着用し、会議に臨んでいます。また、鹿嶋市議会では新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見を許さないという趣旨の決議を定例会において全会一致で可決しています。詳細は25ページをご覧ください。

▶3つの輪は「地域」「家庭」「職場(学校)」を表している



3月4日(木)、鹿島の里事業の現地視察を行いました

市内外からのスポーツ施設利用者や滞在者、また、観光客のおもてなしの拠点として民間事業者により整備が進められている「鹿島の里」の整備状況などを把握するため、整備中の鹿島の里(沼尾・林・田野辺地区)の現地視察を行いました。事業者から概要説明を受けた後、各エリアに赴き、整備状況や完成イメージなどについて丁寧に説明いただきました。



次回定例会の 開会予定は 6月3日(木)

6/ 3 (木)	本会議・開会
8 (火) 9 (水) 10 (木)	本会議・一般質問 ※10日は予備日
11 (金)	本会議・質疑、委員会付託、 予算決算常任委員会
15 (火)	常任委員会
17 (木)	本会議・委員長報告、討論、 採決、閉会

※変更の場合があります。詳細はHPでお知らせします。
<https://www.city.kashima.ibaraki.jp/site/19gikai/>

- ◆ 広報広聴委員会
- 委員長 小池みよ子
 - 副委員長 樋口富士男
 - 委員 菅谷宏毅
 - 委員 川井敏子
 - 委員 小松康弘
 - 委員 外井明宏

編集後記 樋口富士男

今回は鹿嶋市の少年野球の活動を取り上げさせていただきました。大野ファイターズさんと鹿島ベアーズさんの2チーム同時に取材をさせていただきました。

監督やコーチの皆さんはボランティアで子どもたちに野球を教えているそうです。それに応えるように子どもたちは球場に響き渡るような大きな声で試合をしていました。

現状は試合ができるぎりぎりのメンバーしかないということでしたが、子どもたちの気持ちのよい挨拶と掛け声を聞いていると、鹿嶋市の将来も希望に満ちていると感じました。